

カナダで合気道を46年指導

小幡幸さんを囲む会



笑顔を見せる小幡さん(中央)

カナダで合気道を広めてきた合気道部OBの小幡幸さん(昭46経営)が一時帰国。合気道部OB会(川端登会長、昭63経営)が4月15日、神田キャンパスで交流会を開いて歓迎した。小幡さんは「日本とカナダがさらに強い絆で結ばれるよう応援していく」と笑顔で話した。

小幡さんは1972年にカナダに渡り、トロントの日系文化会館(JCCC)を本拠に、ボランティアで合気道を教え始めた。トロント領事館に勤務し、2012年定年退職したあとも指導は続いており46年になる。長年の日加親善の功績からトロント総領事や日系文化会館から表彰された。また、本学合気道部がカナダ遠征の際には温かく迎え入れ、親善演武を至誠館名誉館長の田中茂徳師範や、合気道部の渋

谷武夫前部長(名誉教授)はじめ総勢80人が集い、和やかなうたげが繰り広げられた。

あいさつに立った小幡さんは、今年いっぱいカナダを離れ日本に帰国することを明かし、「合気道の神髄である自他一体の精神を大切に、指導を続けてきた。『継続は力なり』を実感している」と語った。合気道部の中村達哉主将(法4)と島崎博監督(昭48文)が音頭を取り、「フレイオバタ」と会場全員でエールを送った。

福井県から駆け付けた会社役員の前堂規行さん(昭56経営)は「カナダを訪ねた際、空港で合気道と書かれたシャツを着て迎えてくれた小幡君の姿が今でも目に浮かぶ。穏やかな人柄だからこそカナダの人々に受け入れられたのでは」と懐かしそうに話した。

3月に教職を定年退職した日高義博理事長・元学長(刑法)の古稀を祝う会が4月21日、東京都のホテルグランドパレスで開かれ、1期から43期までのゼミ卒業生約100人が祝福した。写真。日高ゼミ卒業生の会は「樂水會」(鈴木雅美会長・昭55法)として活動してきたが、校友会職域支部となり発足式を兼ねての開催となった。

卒業生は、法律学の世界にとどまらず幅広い分野で活躍しており当日は

日高理事長の古稀を祝福



「日高先生の古稀をお祝いする会」

宮崎、石川や、中国など海外からも駆け付けた。日高理事長は「理事長と学長の職を兼ねていた時も週5コマの授業で教壇に立った。研究に戻れる時で楽しいひとときでほしい」とあいさつし、拍手に包まれた。

尾形則昭氏(おがた・のりあき)昭54商)積和不動産関東代表取締役社長に4月23日付で就任。本社(東京都。総合不動産企業)。

校友会情報

代議員会開催

▽6月16日(土)15時

〈校友会幹事会〉

▽5月25日(金)、6月15日(金)両日も18時30分

▽6月2日(土)17時

▽6月10日(日)16時

▽6月16日(土)18時

▽6月22日(土)18時

▽6月29日(土)18時

▽6月30日(日)18時

▽6月31日(日)18時

▽6月1日(日)18時

▽6月2日(日)18時

▽6月3日(日)18時

▽6月4日(日)18時

▽6月5日(日)18時

▽6月6日(日)18時

▽6月7日(日)18時

▽6月8日(日)18時

▽6月9日(日)18時

▽6月10日(日)18時

▽6月11日(日)18時

▽6月12日(日)18時

▽6月13日(日)18時

▽6月14日(日)18時

▽6月15日(日)18時

▽6月16日(日)18時

▽6月17日(日)18時

▽6月18日(日)18時

▽6月19日(日)18時

▽6月20日(日)18時

▽6月21日(日)18時

▽6月22日(日)18時

▽6月23日(日)18時

▽6月24日(日)18時

▽6月25日(日)18時

▽6月26日(日)18時

▽6月27日(日)18時

▽6月28日(日)18時

▽6月29日(日)18時

▽6月30日(日)18時

▽6月31日(日)18時

専大校友を訪ねて

県議として11年。副議長を経て4月25日に第98代議長に就任した。「政治は人の幸せをつくる仕事。それぞれの価値観が満たされるような社会をつくっていくことが、政治の根本だと思います」

滋賀県議会議長 川島 隆二さん (平8法)



輝きが忘れられない。「政治や行政の力で変えることができる。子どもたちが、この地域で学び、生きてい

外に出よう 行けばなんとかなる

「きたいと思えるように」と道に進んだらいいか迷うと教育問題に力を入れることも多い。でも、海外にどんどん行くなど、いろいろな経験をしてみたい方が多い。行けばなんとかなるから面白く」と豪快に笑う。大学3年次の夏、一人でアメリカ一周バス旅に出た。このときも「なんとかなる」と、取得したばかりのパスポートを握りしめ、40日間各地を巡り、アメリカの広さと、都市それぞれの面白さに魅了された。

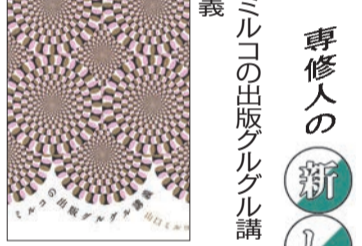
大学ではテニスと野球の二つのサークルに所属し、毎週生田に通っていた。「本当に楽しかった。あの時の友人は今でも大切な財産」と振り返る。「大学時代は、どんな

専修人の新しい本

ミルコの出版グルグル講義

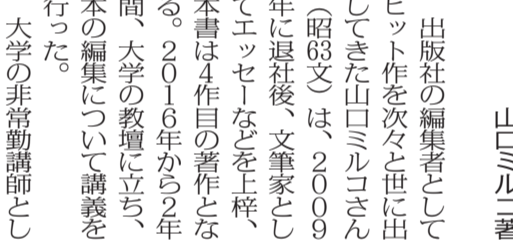
山口ミルコ著

出版社の編集者としてヒット作を次々と世に出してきた山口ミルコさん(昭63文)は、2009年に退社後、文筆家としてエッセイなどを上梓、本書は4作目の著作となる。2016年から2年間、大学の教壇に立ち、本の編集について講義を行った。大学の非常勤講師として



の経験と、本を作る側と書く側双方の体験を合わせ、「出版とは何か」を考える一冊になっている。講義の準備として書店や倉庫、古紙再生工場や印刷所などの現場に足を運んだ。本の廃棄作業を行う工場で新品の本が粉々に碎かれる衝撃的な場面の描写もある。

タイトルの「グルグル」は人と人とのつながりや物事の連鎖を意味し、本書の随所に現れる。編集者という仕事を伝えるグルグルの中で得た著者の発見がちらりぼらられている。(河出書房新社・本体1500円+税)



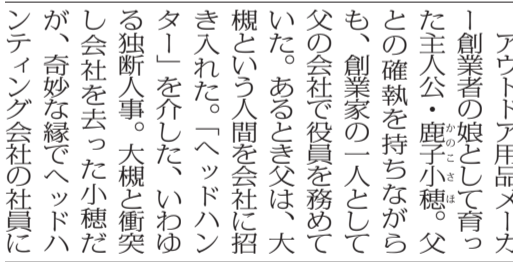
引き抜き屋

1 鹿子小穂の冒険

2 鹿子小穂の帰還

栗井脩介著

アウトドア用品メーカー創業者の娘として育った主人公・鹿子小穂。父との確執を持ちながらも、創業家の一人として父の会社で役員を務めていた。あるとき父は、大槻という人間を会社に招き入れた。「ヘッドハンター」を介した、いわゆる独断人事。大槻と衝突し会社を去った小穂だが、奇妙な縁でヘッドハンティング会社の社員に



心機一転、ヘッドハンターとなった小穂は優れた経営者たちとの出会いを通して「経営」や「仕事」、そして「人」とは何かに目を開いていく。そんな小穂のもとに、父の会社が経営危機になっている知らせが。父の苦しい関係を抱えつつも、小穂は父の会社の救済に奔走する。

ひたむきに仕事を続ける主人公が、人間としてもプロフェッショナルとしても成長していくヒューマン・エンターテインメント。作家・栗井脩介さん(平3文)は新たな境地を開いた。(PHP研究所・1は本体1700円+税/2は本体1800円+税)

SMBC

SMBCグループ

三井住友銀行

確実にやるのはどこでもできる。確実に速くやるからこそ「価値」になる。

MIZUHO

みずほ銀行

One MIZUHO

〈みずほ〉は、ひとりひとりのお客さまに寄り添った解決策をご提案します。

東京2020ゴールドパートナー

One MIZUHO